

東京都商工会連合会と協定を締結

10月22日、都産技研と東京都商工会連合会(会長 村越 政雄、以下「都連」)は、業務連携に関する協定を締結しました。都連は、多摩および島しょ地域の商工会を取りまとめた商工業全般の経営改善を図り、中小・小規模企業と地域づくりの支援を行っている機関です。都産技研と都連は、これまでも「産業サポートスクエア・TAMA」内の機関として、一般公開イベントの同時開催などを通して、相互に連携・協力してきました。今回の協定締結を契機に、都連とさらなる連携・協力関係を構築し、多摩および島しょ地域の中小・小規模企業に対して、幅広く製品開発の支援や情報提供等を実施し、地域産業の発展を図っていきます。



▲都産技研 片岡理事長と都連 村越会長(右)

西武信用金庫と協定を締結

10月28日、都産技研と西武信用金庫(理事長 落合 寛司、以下、「西武信金」)は、地域の活性化と産業の振興を図ることを目的に、包括的連携・協力に関する協定を締結しました。協定締結により、連携・協力関係を構築し、都内中小企業に対して新製品開発などの技術的な支援や情報提供等を実施しながら地域社会の発展を図っていきます。



▲都産技研 片岡理事長と西武信金 落合理事長(左)

東京理科大学と協定を締結

11月5日、都産技研と学校法人東京理科大学(理事長 中根 滋)は、産学公連携協力に関する協定を締結しました。この協定は、地域産業活性化に関する連携活動および東京の産業を支える中小企業の振興を図ることを目的としています。



▲東京理科大学 葛飾キャンパス(平成25年4月開設)

都産技研と東京理科大学は、これまでも各技術分野における研究者の交流を行い、相互に協力してきました。都産技研は城東地域の中小企業支援を強化するために、東京理科大学との連携・協同関係を構築し、地域産業の活性化に向け、新事業の創出、新技術開発、技術者教育等を充実していきます。

「城東支所 施設公開」を実施しました

10月18日から20日までの3日間、城東支所の施設公開を「第29回葛飾区産業フェア工業・商業・観光展」と同時開催で行いました。会場の城東地域中小企業振興センターとテクノプラザ葛飾には、屋内外に100を超える出展があり、多くの来場者でにぎわいました。城東支所では、技術開発支援室およびデザインルームにおいて各技術分野の実演・体験を行い、スタンプラリーも実施しました。お客さまからは「初めて施設を見た」、「実演・体験が楽しかった」などのお声をいただき、特に、オリジナルエコバッグやカレンダーなどをつくるコーナーが好評でした。最終日はあいにくの雨となりましたが、3日間で約2,300名の方にご来場いただきました。



▲技術開発支援室の実演



▲好きな絵柄を選べるエコバッグは大人気!

「墨田支所・生活技術開発セクター オープニングデー」を開催しました

10月16日、生活関連製品の開発支援の強化を目的に「生活技術開発セクター」を開所し、10月22～23日には、開所後初めての施設公開であるオープニングデーを墨田支所で開催しました。「編織」「繊維評価機器」「アパレル機器による製品化事例」等、従来の繊維分野の展示はもとより、新規に導入した「日射環境試験装置」、「おい識別装置」、「シート型圧力測定器」「非接触視線計測装置」「高速度カメラ」等のデモも実施しました。「快適・健康」「安全・安心」に関する性能評価への関心も多く、企業や試験機関等の見学者の方から、熱心な質問を多くいただきました。アパレル製品の着心地や、家電、メガネ、工具等の使いやすさに関連する生理計測、官能評価についてのご相談も多く寄せられました。今後もこれらの設備の機器利用や依頼試験を通して、高付加価値な生活関連製品の技術支援をしていきます。



▲日射環境試験装置



▲シート型圧力測定器